

【議題】

あいさつ

- 1 地域力応援基金助成事業について
 - ①ステップアップ・ジャンプアップ助成事業〔新規・特別枠〕審査について
 - ②スタートアップ・ステップアップの継続審査委員の選出について
 - ③スタートアップ助成事業経過観察員選出について
 - ④ステップアップ助成事業経過観察報告について
- 2 調査研究テーマ「自治会・町会の現状と連携・協働ニーズ」について
- 3 調査研究テーマ「基金事業の見直し」について
- 4 その他

【出席者】

勝又委員 加藤委員 内藤委員 中島委員 石垣委員 石川委員
平澤委員 杉崎委員 山本委員

地域力推進部長 区民協働担当課長 地域力連携協働支援員 区民協働担当 2名

【会議録】

事務局 定刻になりましたので、平成26年度第4回大田区区民協働推進会議を始めさせていただきます。
本日、委員11名中9名の方にご出席していただいておりますので、大田区区民協働推進会議設置要綱第6条に基づき、会議は有効に成立したことをご報告申し上げます。
なお、議事録作成のため、本日の会議を録音させていただきますのでご承知ください。
それでは、この後は、会長に進行をお願いします。

会長 《会長あいさつ》

部長 《部長あいさつ》

会長 それでは、会議をはじめさせていただきます。最初に地域力応援基金助成事業について、事務局より説明をお願いします。

事務局 まず、地域力応援基金助成事業ステップアップ・ジャンプアップの助成選考審査について説明します。

○書類審査

ステップアップ助成－9団体 ジャンプアップ助成－1団体

○公開プレゼンテーション…10月18日（土）実施

ステップアップ助成－7団体 ジャンプアップ助成－1団体

○書類審査
ジャンプアップ助成特別枠－1 団体

－ステップアップ・ジャンプアップ助成事業[新規・特別枠]の申請事業と審査の状況については非公開－

事務局 ただいまの説明内容について、質問・意見等ございましたら発言願います。

会長 では、次の継続審査員の選出について、事務局から願います。

事務局 それでは継続審査員の選出に入ります。
○ステップアップ助成…審査対象5 団体（予定）
継続審査員 2 名…面接日…1 月下旬

○スタートアップ助成…審査対象6 団体（予定）
継続審査員 1 名…面接日…1 月下旬

会長 継続審査員の選出を行います。

＜ 継続審査員選出 ＞

会長 ありがとうございます。よろしく願います。
次にスタートアップ助成事業経過観察員選出を願います。

＜ 経過観察員選出 ＞

会長 ありがとうございます。よろしく願います。
次に、前回の会議以降に経過観察いただいた委員の方に内容やお気づきの点など、ご報告を願います。

－経過観察報告の部分は非公開－

会長 ありがとうございます。
それでは、調査研究テーマ「自治会・町会の現状と連携・協働ニーズ」について、事務局から願います。

課長 昨年からの調査を始めた経過と今後の展開についてあらためて説明を行います。

＜ 自治会・町会への活動内容ヒアリング及び
デモンストレーション実施等の経過資料に基づき説明 ＞

ホームページ作成支援は、オーちゃんネットのホームページ活用による自治会・町会の情報発信ということで、現在、雪谷地区、蒲田西地区、田園調布地区の3 地区で出前型デモンストレーションを実施しました。

防災拠点訓練支援は、大森第四中学校拠点訓練で計画検討中です。

六郷地域力推進センターを中心とした地域による高齢者対策は、ジャンプアップ助成事業特別枠を活用し、近隣4 町会、センター内各課、区民活動団体による連携協働事業の検討が進行中です。

自治会・町会での人材確保に向けた取り組み成功事例の普及は、町内道路清掃実施、2 地区拡大合同道路清掃実施などに参加し、ヒアリングを重ねています。

- 委員 ホームページに着手された町会の方のその後はどのような動きがでそうなのでしょうか。
- 課長 自治会・町会でオーちゃんネット登録団体数は47団体程ありますが、活発に更新しているのは6団体程に留まります。今回デモンストレーションをきっかけに導入された団体は、頑張って登録し、更新をされており、前向きなお話をいただいています。
- 委員 オーちゃんネット関連で、NPO団体などとの連携協働の実現はありましたか。
- 課長 自治会・町会の進捗具合と要望を確認しながら進めています。まずは自らの情報発信に慣れるところをがんばっています。
- 会長 それでは、調査研究テーマ「基金事業の見直し」について説明願います。
- 支援員 今年度に入り、事務局の方で行ってきたアンケート調査の集計がまとまりましたので、説明します。

<『地域力応援基金助成事業の検証アンケート調査 集計結果について』資料を説明 >

本日は初めて見ていただいている資料となりますので、まだ馴染みがないと思いますが、本年はまとめの年度となり、第7回には提言書にまとめることとなります。次回第5・6回を活用し、議論いただきたいと思います。この調査は第2回に皆様に確認し、進めてきました。最終的には回収は9月8日までかかりました。アンケートの内容は、地域力応援基金助成事業で平成21年度から始まり、これまでに終了している事業を対象としています。実際にどういうことになっているのかを把握するのが目的の調査となります。調査対象は58事業ありましたが、回収事業数は53事業で91.4%の回収率となりました。グラフ化できるものは極力グラフ化し、個別回答内容を整理したものを表形式にしたページ、考察の部分には結果から見えるものを事務局の方で分析したものを載せています。本日配布しているものは、ページの上部にあるように未定稿となっていますので、皆様からのご意見をここに修正していくことができるようになっていきます。確定ではなく未定ということです。内容としては、助成終了後の事業継続については全く継続しなかったとの回答は0でしたが、助成事業の種別により、継続方向の割合に差が見られました。また、助成金が団体の自立に役立っている点で見た全事業で見た場合の上位は、「活動の認知度が向上した」「ネットワーク・連携が形成された」「会員の意識が向上した」となりました。団体の現在の主な収入源としては、「事業収入」「会費」の順に多くなっていました。この収入源に終了後の継続状況をクロス集計させたものなども分析として載せています。他にも助成事業の上限額をお聞きしたものの、ステップアップ助成事業の下限が50万円出は大きいのももう少し低くても良いとのご意見もでております。資金面で役に立ったものとしては、圧倒的に多いのは「広報面の協力」というところになります。あると良かった区の支援では、一番多かったのが、「他団体との交流・連携に関する事」「会場に関する事」「担当部署に関する事」と続いています。最後に考察としては入っていませんが、助成金のあり方については、いろいろな意見がたくさん出ておりました。また、審査の在り方なども上がっております。

本日は時間がないため、説明だけになってしまいますが、これを基に事務局から問を立てていただきますが、本日説明したものを材料にして、皆さんからの議論を引き出せばよいかと考えています。

委員 円グラフの凡例の差がわかりにくいです。

委員 次回から5～6種類の凡例があり場合は、カラーでないとうわかりにくいです。

委員 これが、これからの資料の基になるとのことなので、少し読み込んで来てください。次回の推進会議の日程を決めたいと思いますので、事務局からお願いします。

 < 第5回 区民協働推進会議 12月3日(水) 開催 >

会長 それでは、これで審議を終了させていただきます。皆様、本日はありがとうございました。事務局よろしくお願いします。

事務局 これで、本日の会議は終了です。お疲れ様でした。

《 終 了 》